

第4章 汎用データの受入・作成

(ご利用いただいている場合)

Bシステム以外

奉行J以外

以下の説明は、汎用データを受け入れている、または作成している場合の対応です。

※汎用データを作成している場合は、P.44 からご確認ください。

商品データの受け入れ…………… P.40

各種伝票データの受け入れ…………… P.41

受入項目・作成項目の追加・削除と受入記号…………… P.44

商品データの受け入れ

商品ごとに新税率（10%、軽減税率8%）を設定する機能が搭載されます。

※「商蔵奉行 21 汎用データ受入形式」をご利用している場合は、P.54 参照

■ 軽減税率の対象商品がない場合

変更は必要ありません。

■ 軽減税率の対象商品がある場合

▼ 受入形式

新たに「税率種別」の受入記号（受入項目）を追加します。

※『OBC 受入形式』の受入記号は、P.44 参照

※独自の受入形式は、条件設定画面の [形式作成] ボタンから項目を追加

▼ 値のセット

軽減税率の場合に「1：軽減」を設定します。

各種伝票データの受け入れ

税率に関する設定として、以下の2つの項目が機能追加されます。

- ・「税率」項目が新税率に対応します。
- ・「税率種別」項目が追加され、軽減税率8%の伝票を受け入れる機能が搭載されます。

お客様が受け入れる伝票にあわせて、汎用データの「税率」項目、「税率種別」項目を変更します。

※「税率区分」を利用している場合は、P.51 参照

※「商蔵奉行 21 汎用データ受入形式」を利用している場合は、P.54 参照

■「税率」項目

● 新税率 10%・軽減税率 8%の伝票を受け入れる場合

○ 今まで「税率」項目を利用していない場合

今までの受入形式のまま、変更は必要ありません。

○ すでに「税率」項目を利用している場合

施行日（2019年10月1日）以後、取引内容に応じて値をセットします。

取引内容	税率
新税率 10%の伝票	10
軽減税率 8%の伝票	8

● 経過措置 8%、5%の伝票も受け入れる場合

▼ 受入形式

○ すでに「税率」項目を利用している場合

今までの受入形式のまま、変更は必要ありません。

○ 今まで「税率」項目を利用していない場合

新たに「税率」の受入記号（受入項目）を追加します。

※『OBC 受入形式』の受入記号は、P.44 参照

※独自の受入形式は、条件設定画面の [形式作成] ボタンから項目を追加

▼ 値のセット

施行日（2019年10月1日）以後、取引内容に応じて値をセットします。

取引内容	税 率
10%の伝票	10
軽減税率8%の伝票	8
経過措置8%、5%の伝票	8、5

■ 「税率種別」項目

● 軽減税率8%の伝票を受け入れない場合

今までの受入形式のまま、変更は必要ありません。

● 軽減税率8%の伝票を受け入れる場合

○ 商品の「税率種別」の設定にしたがう場合

※「税率種別」の詳細は、P. 2 参照

今までの受入形式のまま、変更は必要ありません。

○ 取引ごとに、汎用データ上で直接「税率種別」を設定する場合

▼ 受入形式

新たに「税率種別」の受入記号（受入項目）を追加します。

※『OBC 受入形式』の受入記号は、P.44 参照

※独自の受入形式は、条件設定画面の [形式作成] ボタンから項目を追加

▼ 値のセット

施行日（2019年10月1日）以後、取引内容に応じて値をセットします。

取引内容	税率種別
新税率10%の伝票	0（標準）
軽減税率8%の伝票	1（軽減）
経過措置8%、5%の伝票	0（標準）

【参考：税率と税率種別の設定】

伝票日付が 2019 年 10 月 1 日以後の場合、汎用データ上の「税率」と「税率種別」の値によって、以下のように受け入れられます。

汎用データ上の値		商品登録メニューの「税率種別」	受入結果
税率	税率種別		
10	0 (標準)	設定は考慮されません	⇒ 10%の伝票
10	空白	設定は考慮されません	
空白	0 (標準)	設定は考慮されません	
空白	空白	0 (標準)	
8	1 (軽減)	設定は考慮されません	⇒ 軽減税率 8%の伝票
8	空白	1 (軽減)	
空白	1 (軽減)	設定は考慮されません	
空白	空白	1 (軽減)	
8、5	0 (標準)	設定は考慮されません	⇒ 経過措置 8%、5%の伝票
8、5	空白	0 (標準)	

※伝票日付が 2019 年 10 月 1 日より前の場合

「税率」が空白の場合は、「8%の取引（8%、0：標準）」で受け入れられます。

「税率」と「税率種別」を設定すると、10%や軽減税率 8%の伝票として受け入れられます。

受入項目・作成項目の追加・削除と受入記号

<商品データ>

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別 (販売)	HMGO107	0 : 標準 1 : 軽減
	税率種別 (仕入)	HMGO108	0 : 標準 1 : 軽減

<見積書データ>

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	SSES242	0 : 標準 1 : 軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（販売）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
説明の変更	税率	SSES241	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れられます。 空白データを受け入れた場合は、見積日付と税率種別によって設定されます。 課税区分が「1 : 課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
項目の削除	税率区分	SSES222	P.51の【「税率区分」を利用のお客様の対応】をご参照ください。

<受発注同時データ>

受発注同時入力オプション

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	受注税率種別	SSSO291	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（販売）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
	発注税率種別	SSSO292	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（仕入）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
説明の変更	受注税率	SSSO289	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、受注伝票の税率判定日付（[会社機能設定]メニューで設定）で設定した日付と受注税率種別によって設定されます。 『入出荷管理オプション』をお使いの場合は、出荷指示管理（[会社運用設定]メニューで設定）の設定によって税率を判定する日付が異なります。 チェックが付いている場合 ⇒売上計上基準によって異なります。 0：出荷基準 ⇒出荷予定日 1：検収基準 ⇒受注納品期日 チェックが付いていない場合 ⇒受注伝票の税率判定日付（[会社機能設定]メニューで設定）で設定した日付 受注課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
	発注税率	SSSO290	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、発注納品期日と発注税率種別によって設定されます。 発注課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
項目の削除	受注税率区分	SSSO261	P.51の【「税率区分」を利用のお客様の対応】をご参照ください。
	発注税率区分	SSSO266	

<受注伝票データ>

奉行J以外

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目追加	税率種別	SSAO246	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（販売）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
説明の変更	税率	SSAO245	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、受注伝票の税率判定日付（[会社機能設定]メニューで設定）で設定した日付と税率種別によって設定されます。 『入出荷管理オプション』をお使いの場合は、出荷指示管理（[会社運用設定]メニューで設定）の設定によって税率を判定する日付が異なります。 チェックが付いている場合 ⇒売上計上基準によって異なります。 0：出荷基準 ⇒出荷予定日 1：検収基準 ⇒納品期日 チェックが付いていない場合 ⇒受注伝票の税率判定日付（[会社機能設定]メニューで設定）で設定した日付 課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
項目削除	税率区分	SSAO224	P.51の【「税率区分」を利用のお客様の対応】をご参照ください。

<売上仕入同時データ>

売上仕入同時入力オプション

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目追加	売上税率種別	SSSB291	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（販売）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
	仕入税率種別	SSSB292	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（仕入）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。

説明の変更	売上税率	SSSB287	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れられます。 空白データを受け入れた場合は、売上日付と売上税率種別によって設定されます。 売上課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
	仕入税率	SSSB288	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れられます。 空白データを受け入れた場合は、仕入日付と仕入税率種別によって設定されます。 仕入課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
項目の削除	売上税率区分	SSSB258	P.51の【「税率区分」を利用のお客様の対応】をご参照ください。
	仕入税率区分	SSSB263	

<売上傳票データ>

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	SSSS249	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（販売）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
説明の変更	税率	SSSS248	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れられます。 空白データを受け入れた場合は、売上日付と税率種別によって設定されます。 課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
項目の削除	税率区分	SSSS224	P.51の【「税率区分」を利用のお客様の対応】をご参照ください。

<定期売上データ>

商奉行 10 だけ

B システム以外

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	売上時消費税再計算	SSRS049	0：しない 1：する
	税込単価再計算	SSRS050	0：しない 1：する 「売上時消費税再計算」が「1：する」の場合だけ設定できます。
	税率種別	SSRS248	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（販売）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
説明の変更	税率	SSRS225	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れられます。 空白データを受け入れた場合は、以下の日付と税率種別によって税率が設定されます。 売上区分が「7：消費税」以外の場合 ⇒1回目の計上日の売上日付 売上区分が「7：消費税」の場合 ⇒定期売上期間（開始）の日付 課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。

<契約書データ>

B システム以外

奉行 J 以外

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	SSCO242	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（販売）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
説明の変更	税率	SSCO241	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れられます。 空白データを受け入れた場合は、契約期間（開始）と税率種別によって設定されます。契約期間（開始）が設定されていない場合は、契約日付によって設定されます。 課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
項目の削除	税率区分	SSCO224	P.51 の【「税率区分」を利用のお客様の対応】をご参照ください。

<入金伝票データ>

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	DSRM220	入金区分が「5：値引」の場合に設定します。 0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、「0：標準」が設定されます。
説明の変更	税率	DSRM217	入金区分が「5：値引」の場合に設定します。 10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、入金日付と税率種別によって設定されます。 申告書計算区分が「61：課税売上の返還等」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。

<発注伝票データ>

奉行 J 以外

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	BSOS236	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（仕入）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
説明の変更	税率	BSOS235	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れできます。 空白データを受け入れた場合は、納品期日と税率種別によって設定されます。 課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
項目の削除	税率区分	BSOS223	P.51の【「税率区分」を利用のお客様の対応】をご参照ください。

<仕入伝票データ>

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	BSBS239	0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、税率種別（仕入）（[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）によって設定されます。
説明の変更	税率	BSBS238	10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れられます。 空白データを受け入れた場合は、仕入日付と税率種別によって設定されます。 課税区分が「1：課税」以外の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。
項目の削除	税率区分	BSBS223	P.51の【「税率区分」を利用のお客様の対応】をご参照ください。

<支払伝票データ>

変更内容	項目名	受入記号	備考
項目の追加	税率種別	PSDS222	支払区分が「5：値引」の場合に設定します。 0：標準 1：軽減 空白データを受け入れた場合は、「0：標準」が設定されます。
説明の変更	税率	PSDS218	支払区分が「5：値引」の場合に設定します。 10 8 5 3 ※「8.0」のように「.0」が付いていても受け入れられます。 空白データを受け入れた場合は、支払日付と税率種別によって設定されます。 申告書計算区分が「0：対象外」の場合は、受入データに値が設定されていても「0」で受け入れられます。

「税率区分」を利用のお客様の対応

「税率区分」項目は、今まで当項目を利用しているお客様向けの下位互換用の項目です。

そのため、新税率 10%、軽減税率 8%には対応していません。

※出力した場合は、空白が出力されます。

今後は代わりに「税率」項目を使用します。

■ 汎用データ受入 P.51

■ 汎用データ作成 P.53

■ 汎用データ受入

■ 『OBC受入形式』で受け入れている場合

汎用データ上で、「税率区分」項目を削除して、「税率」項目を追加します。

【例】 8%の場合

従来 ⇒ 「税率区分」項目に「3」を設定 (3 : 8.0%)

今後 ⇒ 「税率」項目に「8」を設定

※ 「税率」項目に置き換えた後、P.41 「各種伝票データの受け入れ」をご確認ください。

■ 独自の受入データ形式で受け入れている場合

1 汎用データの変更

汎用データ上で「税率区分」項目を削除して、「税率」項目を追加します。

【例】 8%の場合

従来 ⇒ 「税率区分コード」項目に「3」を設定 (3 : 8.0%)

今後 ⇒ 「税率」項目に「8」を設定

※ 「税率」項目に置き換えた後、P.41「各種伝票データの受け入れ」をご確認ください。

2 受入データ形式の関連付設定の変更

各伝票データ受入メニューで、「税率区分」項目を削除します。

代わりに、P.41「各種伝票データの受け入れ」での確認内容に応じて「税率」項目を追加します。

[形式作成] ボタンをクリックして、修正するパターンを選択します。

① [関連付設定] ページを開きます。

② 「税率区分」項目を選択して、[関連解除] ボタンをクリックします。

③ 「税率」項目の列番号に、受入元データの「税率」項目の列番号を入力して、[Enter] キーを押します。

< 受発注同時入力オプション または 売上仕入同時入力オプション をお使いの場合 >

[受発注同時データ受入]メニューまたは[売上仕入同時データ受入]メニューをご利用の場合は、受注と発注、売上と仕入の両方を変更します。

汎用データ作成

各伝票データ作成メニューで、各伝票データの出力項目から、「税率区分」項目を削除します。

代わりに「税率」項目を追加します。

① [項目選択] ページを選択します。

② 「税率区分」項目を選択して、[削除] ボタンをクリックします。

③ 「税率」項目を選択して、[選択] ボタンをクリックします。

④ 追加した項目の並び順を、ここで変更します。

< **受発注同時入力オプション** または **売上仕入同時入力オプション** をお使いの場合 >

[受発注同時データ作成]メニューまたは[売上仕入同時データ作成]メニューをご利用の場合は、受注と発注、売上と仕入の両方を変更します。

「商蔵奉行 21 汎用データ受入形式」を 利用のお客様の対応

汎用データ受入形式に変更点はありません。

※「税率種別」項目はないため、『軽減税率の伝票』を直接指定して取り込めません。

※「税率区分」項目は、新税率（10%、8%軽減税率）には対応していません。

- 『軽減税率の伝票』を取り込む場合は、事前に、商品に「税率種別（1：軽減）」を設定します。

※ [商品登録] メニュー・[商品一括登録] メニュー

- 受入項目「税率」「税率区分」の対応は、今まで値をセットしているかによって異なります。

▼ 「税率」「税率区分」をセットしていない場合

▼ 『経過措置の取引』の場合だけ「税率」「税率区分」をセットしている場合

※ 『新税率の取引』の場合は「税率」「税率区分」をセットしていない場合

変更の必要はありません。

▼ 「税率」「税率区分」を必ずセットしている場合

『10%の取引』『軽減税率の取引』の場合は、

「税率」「税率区分」をセットしないように変更します。

※ 同一商品で『10%の取引』と『軽減税率の取引』が発生する場合は、「税率」をそれぞれセットします。